

平成 25 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	110400	TEL	2998-9180				
事業コード	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	担当部課	建築指導課						
110403		グループ	指導グループ						
開始年度		平成 19 年度	→	終了年度	平成 年度				
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	なし			・建築物の耐震改修の促進に関する法律 ・我が家の耐震診断補助金交付要綱 ・我が家の耐震改修補助金交付要綱				
	関連・類似事業	我が家の耐震診断相談会							
	総合計画の体系	章	街づくり	節	住宅・住環境	基本方針	安心・安全で良好な住宅・住環境整備を進めます		
事業開始の背景	平成17年、国の中央防災会議により建築物の耐震化緊急対策方針が決定、また同年に起きた耐震偽装事件等を受けて、当市としても、市民が安全で安心した生活のできる災害に強い住環境の整備を促進するため、平成19年度から我が家の耐震診断補助事業を開始した。平成21年度策定の所沢市建築物耐震改修促進計画における住宅耐震化率90%を目標とすることとし、我が家の耐震診断補助事業とあわせて平成22年度から我が家の耐震改修補助事業を開始した。								
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	所沢市建築耐震改修促進計画における住宅耐震化率90%を達成するため、耐震改修の促進を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位					
	・昭和56年5月31日以前に建築された住宅等：戸建、兼用、長屋、共同(全棟数26,200) ・昭和56年6月1日以降に建築された共同住宅(全棟数3,400)		平成 23 年度	29,600	棟				
		平成 24 年度	29,000	棟					
平成24年度 ※【 】内は平成25年度新規事業を示す。									
建築物	耐震診断(S56.5.31以前) ①戸建、兼用(所有または居住) ②木造の長屋、共同住宅(所有) ③非木造の長屋、共同住宅(所有) ④特定建築物(所有) 【⑤緊急輸送道路閉塞建築物(所有)】	耐震改修(S56.5.31以前) ①戸建、兼用(所有または居住) ②長屋、共同住宅(所有) ③特定建築物(所有)	構造再チェック(S56.6.1以降)						
補助額	①診断費の3分の2(上限5万円) ②診断費の3分の2または住戸数×2万円のうち低い額(上限20万円) ③診断費の3分の2または住戸数×5万円のいずれか低い額(上限100万円) ④診断費の3分の2(上限100万円) 【⑤診断費の3分の2(上限200万円)】	①改修費の23%(上限30万円) ②改修費の23%または住戸数×20万円のいずれか低い額(上限300万円) ③改修費の23%(上限200万円)	構造再チェック費の2分の1(上限15万円)						
④経費	＜会計種別＞ 一般会計		平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)				
	当初予算		3,914	11,750	13,250				
	決算(見込み含む)		2,455	6,799					
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について 平成25年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費		1.51 人	1.19 人	10,546				
	事業費合計		16,333	17,345					
	財源内訳	一般財源	15,106	13,950	6,200				
	国・県支出金	1,227	3,395	7,050					
	その他()	0	0	0					
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 23	H 24	H25見込み	将来目標		
	活動実績	我が家の耐震診断相談会での相談件数	年間2回開催(1回30件まで)の相談件数	件	84	35	60	60	
		補助実績棟数	耐震診断+耐震改修	棟	32	49	55	60	
		ホームページアクセス件数	年間延件数	件	3,046	3,150	3,000	3,000	
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 23	H 24	H25目標値	将来目標		
	成果指標	耐震診断・耐震改修補助実績件数	耐震診断・改修補助利用棟数/耐震診断・改修補助利用目標棟数	棟	目標値	84	60	60	60
				実績	32	49	60	60	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	38	82	↑どちらかをチェックしてください	
⑦改善点	平成24年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)								
	2回目の「我が家の耐震診断・相談会」については、広報やホームページだけでなく、回覧板を作成し相談会の周知徹底をはかった結果、1回目より参加者が増加した。								
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	さらにさまざまな方法で周知を図り、住宅等の耐震化を促進することが必要である。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	国の補助金の増額が予定されていないため、現状の予算とする。				
	今年度の状況と今後の方向性	平成24年度から特定建築物に補助が開始され、また平成25年度からは、緊急輸送道路閉塞建築物への補助が開始されたことから、当事業を、より効果的に実施し、建築物の耐震改修工事や建て替えを誘導していく。住宅の耐震化率については、自然更新により平成27年度までに88%(110,261戸)の耐震化が見込まれ、残りの12%(約15,181戸)が耐震性なしの住宅と見込まれる。「所沢市建築物耐震改修促進計画」の住宅耐震化率の目標値は90%であり、平成27年度までに約2%(2,637戸)以上の耐震改修をめざす。							
評価日	H25.7.10	評価者職氏名	建築指導課長 森沢 清行						
⑨環境影響	有益な環境影響	5-2安心な都市空間の整備			有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用	規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	